



2025 年 5 月 7 日

各 位

会 社 名 日 本 ラ イ フ ラ イ ン 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 鈴 木 啓 介
(コード番号:7575 東証プライム市場)
問 合 せ 先 取 締 役 経 営 管 理 本 部 長 江 川 毅 芳
(TEL. 03-6711-5200)

中期経営計画の数値目標の上方修正のお知らせ

当社は、2025 年 5 月 7 日開催の取締役会において、2023 年 5 月 10 日に公表した「中期経営計画（2024 年 3 月期から 2028 年 3 月期）」について、最終年度となる 2028 年 3 月期の連結業績の数値目標の上方修正を決議しましたので、下記のとおりお知らせします。中期経営計画の策定時以降の新たな成長戦略として、「構造的な疾患領域への参入」、「PFA 製品の共同開発およびグローバル PFA 市場への参入」、「グローバル売上高の拡大」、「OEM 製造の推進」の 4 項目を掲げ、数値目標の達成に鋭意取り組んでまいります。

記

1. 数値目標の修正

中期経営計画（2024 年 3 月期から 2028 年 3 月期）における数値目標

数値目標	2028 年 3 月期 旧目標	2028 年 3 月期 新目標	修正内容
売上高	630 億円	700 億円	+70 億円
うち新領域売上高	80 億円	110 億円	+30 億円
営業利益率	每期 20%水準	每期 20%水準	変更なし
ROIC	12%	13%	+1pt
EPS	120 円	145 円	+25 円

2. 修正の理由

当社は、2024 年 3 月期から 2028 年 3 月期までの 5 年間を対象とした中期経営計画を策定しており、上記 5 つの数値目標を設定しております。これの達成に向け、3 つの重点施策として、「新領域の拡大」、「競争力のある製品の継続的導入」、「資本効率を意識した経営の強化」を設定し、取り組んでいます。

今回、計画の 2 期目にあたる 2025 年 3 月期を終え、各重点施策の取り組み状況および今後の中期的な展望についてレビューを行いました。その結果、計画の最終年度である 2028 年 3 月期に当初の数値目標を上回る公算が高くなったことから、各数値目標を再度検討し、上記の通り上方修正することといたしました。

2025 年 3 月期までの業績については、順調に進捗しております。「新領域の拡大」では脳血管関連および消化器ともに新製品の上市が順調に進み、各製品の市場への浸透が進みました。「競争力ある製品の継続的導入」については、心腔内除細動カテーテルや Frozen Elephant Trunk などの利

益貢献の高い自社製品のラインナップを大幅に強化し、他社の新規参入の影響を最小限に抑えました。また、新製品の導入では、大腿静脈用止血デバイスを上市し、発売後1年で20億円を超える規模の事業に成長させました。「資本効率を意識した経営の強化」では、自己株式の取得も含めて株主還元を積極的に行い、2025年3月期の1株当たり利益（EPS）は131円43銭（前期比33%増加）と大幅な成長を実現しました。

今後の中期的な展望についても、ポジティブな見通しを持っています。事業環境として、症例数の増加トレンドは当初の想定より強く推移しており、当社の主力事業であるEP/アブレーションにとって追い風となる見込みです。事業計画の前提となる心房細動のアブレーション症例数の増加は、当初の予測である5年CAGR6%程度から、今回同9%程度に引き上げました。

さらに、中期経営計画の策定時にはなかった新たな成長戦略として、今後、以下の4項目にも鋭意取り組んでまいります。

新しい成長戦略	重点施策における位置づけ
1) 構造的心疾患領域への参入	「新領域の拡大」
2) PFA 製品の共同開発およびグローバル PFA 市場への参入	「競争力ある製品の継続的導入」
3) グローバル売上高の拡大	新規の重点施策
4) OEM 製造の推進	新規の重点施策

「構造的心疾患領域への参入」では、経カテーテル生体弁（TAVI/TAVR）を皮切りに、新しい治療領域である構造的心疾患の製品ポートフォリオを構築してまいります。同領域は市場成長性が高く、仕入品での展開ながら高い利益率が期待できるため、中長期で大きな業績ドライバーとなることを見込んでいます。

「PFA 製品の共同開発」では、EP/アブレーション領域でのゲーム・チェンジャーと目されるPFA（パルス・フィールド・アブレーション）関連の新製品の開発を米 CardioFocus 社と共同で進めてまいります。当社の操作性の高いカテーテル製造技術と CardioFocus 社の PFA に関する臨床および装置ノウハウを活かし、競争力ある製品で潜在的に1兆円規模と推定されるグローバルなPFA市場への製品供給を目指します。

「グローバル売上高の拡大」では、EP/アブレーション・心血管関連・消化器の幅広い自社製品において、海外販路開拓の取組みを加速してまいります。中期の時間軸（2028年3月期頃まで）では、日本国内承認を水平展開できる中東・アジアを中心に10数か国へ販路を広げつつ、米国FDAや欧州CEの承認取得のために必要な品質管理システム規制への対応等を迅速に進めてまいります。長期では、米国や欧州向けに、当社のコア自社製品である心腔内除細動カテーテルやFrozen Elephant Trunk製品の輸出を目指します。

「OEM 製造の推進」では、自社のカテーテル製造等のノウハウを活かし、新たな事業機会を創出してまいります。

以上の検討の結果、当社は、中期経営計画の最終年度である2028年3月期の数値目標を引き上げることとしました。詳細については、2025年5月7日付で当社のホームページ（www.jll.co.jp/investors/）で公開しているIR資料「2025年3月期通期決算説明資料（P26～P48）」もご参照ください。

以上